

公益財団法人豊橋文化振興財団情報誌

2014年11月-12月

# プラット ニュース

vol. 10



TOYOHASHI  
ARTS  
THEATRE  
PLAT

アートスペースは  
もっともっと  
**冒険**  
する。

# 穂の国の『転校生』

11月1日～3日 PLATアートスペース



## 現代女子高生を現役女子高生が 演じる不思議世界へ

『ベアトリーチェ・チェンチの肖像』と『ヴィヨンの妻』、2つの朗読劇に始まった今期のPLATアートスペースの冒険。この秋は“穂の国の高校生”が主役です。5月のワークショップオーディション以来、半年がかりのプロジェクト。そのベースを固めたのが、夏休み中の8月19日～22日の4日間、出演者21人と学生スタッフ3人が、本番と同じアートスペースでみっちり行ったワークショップです。演出の広田淳一さんをはじめ、『転校生』の作者・平田オリザさん、さらに舞台美術の杉山至さん、照明の木藤歩さんと、プロと時と空間をともにする体験は、彼女・彼らをアーティストとして大きく成長させたよう。そこで公演を目前に、「夏の4日間」をレポートしました。

撮影：萩原ヤスオ

本番の劇場で  
ワークショップ4日間。  
ここから「表現者」への  
挑戦がはじまる。

### ◆8月19日(初日)

言葉を伝える。

リズムにあわせて名前を呼び合ったり、他人のスピーチを模倣するなど、傍目にはゲーム感覚。でも、彼女・彼らは「難しい」と言いながら、それぞれに考え何度もチャレンジしています。「相手を見て、声と身体をしっかりと受け取って。その上で、初めて自分の声と身体を相手に届けることができる」「台本にあるのは言葉だけ。その背後にある身体の動きや空気の流れをどう創り上げるか」そんな演出・広田さんの言葉を吸収する時間です。

### ◆8月20日(2日目)

「間」の芸術を生む。

前半は、舞台美術・杉山さんと照明・木藤

さんによるワークショップ。「舞台芸術は時間と空間を創造する『間』の芸術」という話を実践的に体験します。それが、好きな空間を選んでの「間」のパフォーマンス。テーマは「人間関係の崩壊と再生」で、「だいたいの演劇は根本的にこれを描いている」と杉山さん。ちょっと難しそうですが、それぞれに昇華させた個性的なグループ発表となりました。後半は、広田さんによる仮のキャスティングで脚本の読み合わせ。平田さんの作品ならではの「同時多発会話」に皆、大苦戦。これ、本番の客席も初体験の方が多いのでは？

### ◆8月21日(3日目)

身体表現と初演技と。

前半は、身体のエネルギーをある一点に集め、イメージを乗せて動きます。演劇とは身体表現であるということ、まさに身をもって感じる時間でした。後半は、2人1組で短い芝居に挑戦。「ただ相手役を見るのではなく、意思視線や気持ちをしっかりと

受け取ることが大事」と広田さん。人前で演技するのは初めてという人もいましたが、ひるむことなく広田さんに食らいつく姿は、なんと頼もしいものがありました。

### ◆8月22日(最終日)

演劇と「私」と「他者」を繋ぐ。

作者・平田さんの登場に、みんなワクワクドキドキ。声と身体を使ったゲームに始まって、いくつかの台本の一部を使って書かれていない人物像や場の状況を考えたり、自分たちで台詞を加えたり。さまざまなアイデアが飛び出して、楽しい空気に包まれました。「演劇は、社会的問題を恋愛や友情など個人的、人間の問題に引きつけて共感ポイントを作ると面白くなる」と、平田さん。「同時多発会話」にも、あらためて挑戦。日常のおしゃべりや体験を深く見つめることにも繋がりそうです。演劇と日常、私と他者のあいだを行き交った4日間、高校生たちの身にじわじわと変化が起こりつつあります。

演出

# 広田淳一

刺激的な作品が立ち上がる  
予感がいっぱい。

## 貪欲にして力ある高校生たち。

——ワークショップの手ごたえはいかがでしたか。

広田●2日目、舞台美術の杉山さんと照明の木藤さんのときに、小グループで3分間の作品を発表してもらったんですけど、ちょっとびっくりしましたね。この子たちは、こんな短時間で形にする力を持っているんだって。創造性を引き出す入口を作ってあげれば、これだけすごいものができるんだって。ついつい「教える」みたいになりがちですが、もっと放っておかなくちゃ、もう一度気を引き締め直していかなきゃと、反省しましたね。

そのあと、仮のキャスティングで演ってみましたよ。平田さんの「同時多発会話」って、台本も3段組になっている。僕も演出としてやるのは初めてですし、みんなは演劇部の子でも初めてなので、最初は大混乱。でも、翌日には「もっとやりたい。先に進みたい」って。貪欲ですよ。なにか演じる快樂も感じていそうなので、そこから先をどう積み上げていくのか。あの子たちの力も借りながら作っていければと思っています。——そういうエネルギーは、見ていても伝わってきました。

広田●なにしろ半年つきあうわけで、高校生とこんなに本格的に取り組むのは初めてです。だから、最初の募集チラシに、あえて挑発的に「厳しく、真剣に」って、和気臨々みたいなのがゴールじゃないよっていう気持ちを込めて書いたんですけど、それがどこかで影響しているかもしれ

ない。その先の何かを見ようという意思をみんなが持っている印象があります。

## 劇場という場の力を思い知る。

——高校生たちに期待することは、ありますか。

広田●あります！僕は、みんなを高校生だと思ってないよって。俳優という自覚をもって、演出家の僕と付き合う、そういうアーティスト同士。一方で、いい具合に高校生の生意気な部分が残ってますから、「私はこうやりたい」「僕はこうやりたい」という意見がいい感じに出て、うまくぶつかる現場になるんじゃないかって、すごく期待しています。

それから、何かやるときに、「あ、面白そう」ってすぐ火がつく子と、炭火みたいに時間をかけてすごく大きな導火線に火がつく子という。僕自身が高校生のときに、そういうちょっと暗い部分を持っていた。でも、水面下で変わりつつある何かって確実にあって、そこはしっかり見つめていきたい。僕の課題ですね。

——地元の期待も高くなっています。

広田●劇場でワークショップなんて、もう信じられないぐらい贅沢をさせていただいて、場所が持つ力の大きさを思い知りました。あの子たちも、「ここで本番をやるんだ」って、僕と同じだと思う。刺激的な作品が立ち上がる予感がしていますので、ぜひ、みなさん、目撃しに来てください。

〔聞き手=PLAT事業制作グループ 塩見直子〕

〔ひろた・じゅんいち〕アマヤドリ主宰・劇作家・演出家・俳優。1978年生まれ。東京都出身。2001年、東京大学在学中に「ひよっこご乱舞」を旗揚げし、主宰する。以降、全公演で脚本・演出を担当し、しばしば出演。さりげない日常会話ときらびやかな詩的言語を縦横に駆使し、身体性を絡めた表現を展開。随所にクラッピングや群舞など音楽・ダンス的な要素も節操なく取り入れ、リズムとスピード、熱量と脱力が交錯する「喋りの芸」としての舞台を志向している。簡素な舞台装置と身体的躍動感を必須としながらも、あくまでも相互作用のあるダイアローグにこだわりを見せる。2012年3月ひよっこご乱舞爆破。同年アマヤドリとして出発。

# 作 平田オリザ

自分たちの生活を見直す瞬間が、  
きっと、ある。



初演は20年前。高校生の生命力と、それのもたらす危うさ、儚さみたいなものが背中合わせになった作品が書けるといいかなと思って作ったものです。当時もそうでしたが、彼女たちはちょっとしたことで、ごく盛り上がりたり落ち込んだりして、それが大変なところでもあり魅力でもある。今日は、みんな非常に伸び伸び演技していてとてもいい印象でした。この21人がうまく調和して作品を作ってくれるといいなと思っています。

でも、なによりも楽しんでやっていただきたいし、その楽しさのなかで普段の自分たちの生活を見直す瞬間が、きっと、ある。そう願っています。(談)

〔ひろた・おりざ〕劇作家、演出家。こまばアゴラ劇場芸術監督、劇団「青年団」主宰。東京藝術大学アートイノベーションセンター特任教授。1962年東京生まれ。1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞受賞。2003年日韓合同公演『その河をこえて、五月』で、第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。2011年フランス国文化省よりレジオンドヌール勲章シュヴァリエ受勲。フランスを中心に世界各国語に翻訳・出版されている。近年は大阪大学石黒研究室とのロボット演劇プロジェクトでも注目を集めている。



## 穂の国の『転校生』

好評  
発売中

- 作=平田オリザ
- 脚色・演出=広田淳一
- 日時=11月1日[土] 19:00開演  
2日[日] 13:00開演 ※公演終了後トークあり  
19:00開演
- 3日[月・祝] 13:00開演/17:00開演
- 会場=PLATアートスペース
- 料金=[全席自由・日時指定・整理番号付き]  
一般:2,000円/24歳以下:1,000円  
高校生以下:500円

待って  
ました!!

# 『国本武春の大忠臣蔵』

12月7日 PLAT主ホール



## 浪曲も時代と共に変化していくべき 日本人の琴線に触れるものを語れば、 それが立派な浪曲

「うなるカリスマ」こと、人気浪曲師・国本武春がやってくる！最近ではラジオから浪曲が流れてくることも稀だから、浪曲そのものを知らない方も多かもしれない。だから今こそ国本！古典もちろんやるけれど、あの手この手の現代的なアイデアを盛り込んで浪曲の魅力を発信している伝道師だ。『大忠臣蔵』は、ロックやバラードを盛り込んだ代表作。季節もバッチリ、老いも若きも日本人のDNAをたぎらせにやっこい！

——浪曲って最近では聞く機会が確かに少ないですね。昔は、NHKラジオでずいぶん流れていた気がします。

国本●そう、今や「そんなものがあつたんですねえ」といわれるような時代ですからね。50、60年前には浪曲を聞かないと具合が悪くなってしまうという人がたくさんいたくらい隆盛を誇っていた。そのころは浪曲師もたくさんいて、しのぎを削っていたからクオリティーも高かったんです。

浪曲が成立したのは明治に入ってから。東京では浪花節、大阪では浮かれ節と呼ばれていたものが大正時代に統一されて、浪曲になった。おじいさん、おとうさんが聞いていたのを子どもがうなつたりするよう

に、意味なんかわからなくてもメロディーと言葉と一緒に聞いているから自然と覚えてしまうんですよ。それが浪曲の強み。講談が500年、落語が300年、浪曲は150年。桃中軒雲右衛門（20～30秒の間、まったく息継ぎをせずに一気に語る「三段流し」という歌唱法で人気を得た明治の浪曲師）なんて永ちゃんみたいな存在だったようです。昭和のはじめに広沢虎造だ寿々木米若だという人たちがつくった良い時代があって、戦後は歌謡曲を取り入れた歌謡浪曲が人気になった。代表的なのが『唐人お吉』『岸壁の母』ですね。

昭和30年代は巡業が華やかで、僕が入門したころがその最後じゃないですか。まだ

ラジオだけの時代ですから、あんないい声の人はどんな顔なのかと観にくるわけですよ。そうすると偽物が出ている。もう“広沢造虎”でも満員ですよ。名前を変えるのは良心的なほうで、そのままやっている場合もありますから。いいかげんなものです（笑）。そして三波春夫先生が浪曲から出て国民的歌手になったのが浪曲の締めでしたね。

——三波春夫さんは浪曲なんですか？40代くらいだと広沢虎造の「旅いゆけば～」とダミ声でやるのがポピュラーかと。

国本●広沢虎造先生はあの時代にたまたま人気を呼んだ方なんです。浪曲って、もうこれこそが浪曲！というものが無いんですよ。寿々木米若は寿々木米若というジャンルをやっているようなもので、そのくらいいろいろなんです。それを全部ひっくるめて浪曲という乱暴さ（苦笑）。うなつてばかりの人、せりふの中でちょろつとうなる人、泣かせる専門、笑わせる専門、『忠臣蔵』ばかりやっている人、新しいものをやる人、落語のように座布団に座つてうなる人、スタンドマイクを置いて一人芝居のようにならうなる人。弾き語りもいれば、三波春夫さんのようにオーケストラをバックにやった人もいます。それも浪曲これも浪曲。だ

から一つ聞いただけで浪曲を聞いたつもりになってほしくないんです。

ただ、いま残っている浪曲師の大半は浪曲にやらされていて、自分でやっている感がないんですよ。昔の先輩たちは浪曲をあやつっていた。確かにやらなきゃいけないことがたくさんあるので、どうしても、そこに自分の人生観を投影するところまでいけず、形だけ継承しているからおかしなかになってしまう。もともとはやりたいことがある人たち、言いたいことがある人たちが、いろいろパフォーマンスをつくってこれでどうだ！これでどうだ！ってことで隆盛を極めてきたものですから。

——そこで国本さんが登場するわけですよ！歌舞伎でも落語でも新しいことに挑戦して、客層を広げている方がいます。国本●私の場合は敷居をさげようとかではなく、こういうものも面白いでしょということ伝えていんです。今は浪曲の原点でもある日本のメロディー自体が危機になってしまっている。そこで現代的なメロディーのなかに入っていった歌のあいだにせりふがちょこっと入って物語を語る、その典型が私の『忠臣蔵』。メロディーを聴かせる、せりふを聞かせる、声を聞かせるというんじゃなくて、基本的に物語を聞かせようと。その結果、人情に泣くという感覚になればいいなということにしばってみよう。そりゃものすごく三味線が弾けて、すごい声が出て、すごい節回しができればびっくりさせることもできるかもしれないですけど、そういうわけではないですから。節回しにしても今は浪曲よりソウルなど洋楽的なイメージじゃないですか。だったら道具はなんでもいい、三味線をギターに持ち換えたっていい、私の場合は三味線のままやっていますけど、日本

人の「いいね！」と琴線に触れることが語られていけば、それで浪曲としていいんじゃないの？と。

ところが実際に始めると、「そうじゃないんだよ」という自分があるんですよ（苦笑）。自分と同じくらいのキャリアや年齢で、「あんなのは浪曲じゃないよ」と刺激を与えてくれる古典のオーソリティがいれば、そいつと対決するぞという感じにもなるんですけど、何十年も自分のなかで行ったり来たりしている状態（笑）。玄関で呼び込みするのも私、中でようこそいらっしやいましたというのも私、舞台に出てくるのも私。ほかにはいないのかよっていうような状態なんです。

### 『忠臣蔵』を通して、 浪曲の楽しさを伝えたい

——PLATでは、まさに年の暮れに、日本人の大好きな『忠臣蔵』をやられます。国本●忠臣蔵は浪曲師生活30数年のうち25年はやっています。「殿中刃傷」編が出来て25年くらいになりますか。それから「吉良邸討ち入り」編を作ったりしながら、三味線の弾き語りライブをやるようになったんです。バンドでやってた時代もある。弾き語りライブでは、殿中刃傷という発端があって、最後討ち入りがあるんですけど、大石内蔵助が機をうかがっている時間をお客さんと掛け声の練習で遊んだり、三味線の話をして洋楽をやって、かれこれ1年9カ月なんていってね、そうすると1時間半くらいになってちょうどいいんです。頭とお尻だけちゃんとできて、まとまりがいい。忠臣蔵の筋もなんとなくわかるし、三味線の歴史の流れもわかるし、三味線で洋楽を演奏する国本の世界も伝えられる。ここ最近では銘々伝というわけではないん

ですけど、神崎弥五郎や堀部安兵衛だとか四十七士それぞれの物語を、短くてもいいので歌にしていこうという作業をやっているんですよ。5人くらいたまったらCDを出そうと（笑）。実際は半数くらいの浪士にしかドラマはないんですけど、どこからか探してきて無理やりこじつけて。

——ところで、これまで豊橋でライブをやられたことはありますか？

国本●今回が初めてです。吉良町でライブを行った時は、地元ですからね、いつもの逆バージョンをやったんですよ。憎たらしいキャラクターとして演じるから吉良上野介が悪者になってしまうので、上野介をさわやかにして浅野内匠頭を憎たらしくした。自分の中だけで盛り上がっていて、客席はそうでもなかった（苦笑）。

——国本さんの持ち歌のなかには「ええじゃないか、ええじゃないか」と歌うものもありましたね。豊橋のキャッチフレーズが「ええじゃないか豊橋」、きっと豊橋公演でやったら盛り上がりそうですよ。

国本●「ええじゃないか」、ありますね。「にほんごであそぼ」という子ども番組でやっている「ええじゃないか日本」という曲もありますし、「ええじゃないか豊橋」、作っていきましようか（笑）。

[聞き手・テキスト＝今井浩一]



[くにもと・たけはる] 浪曲師。三味線の弾き語り、ロックやバラードに忠臣蔵や民話・昔話が合体したオリジナル作品を数々発表。2000年にはブロードウェイ・ミュージカル「太平洋序曲」（宮本亜門演出）に主演、2度の米国公演に参加。2003年には文化庁文化交流使として米国テネシー州にて活動。2004年にはブルーグラスバンド“ザ・ラストフロンティア”を結成。ライブのほかテレビ、ラジオなど多方面で活動中。第50回文化庁芸術祭新人賞、第50回芸術選奨文部大臣新人賞、平成13年度国立演芸場花形演芸大賞を受賞。

好評  
発売中

### 『国本武春の大忠臣蔵』

- 出演＝国本武春
- 日時＝12月7日[日] 15:00開演
- 会場＝PLAT主ホール
- 料金＝[全席指定] 一般：3,000円

2014

# おとなも 子どもも 劇場を体験した夏

劇場はいろいろな人が集まる場、そしてともに表現し発信する場へ。そんな思いを込めて昨年オープンしたPLAT2度目の夏は、子どももおとなも劇場を体感し、自ら創り楽しむ時間に包まれました。集まった人々の歓声、驚き、感動、そして体温は、PLATの隅々にまでしみとおり、新たな鼓動となって秋に、冬に、甦ります。



PLATで創る  
**近藤芳正** 構成・演出  
『話しグルマ』オーディション  
[8月2日・3日]

**ひとが集まる、  
物語が生まれる。**

愛知県出身の俳優・演出家、近藤芳正さんを構成・演出に迎え、一般公募の皆さんとともに創るPLATオリジナル演劇『市民と創るスケッチ群像劇『話しグルマ』』が来年3月、上演となります。また、その構想を練る段階の8月2日と3日、出演者オーディションがアートスペースで行われました。集まったのは60代から10代までの約40人。演劇経験のある人もない人も、「好きな台詞」と「車にまつわるシチュエーション」という2つの「お題」を、それぞれに演じてくれました。近藤さんの希望により一人につき約20分に渡るマンツーマンの面接も。オーディションの最中から、「この人は地元



の社長さんが似合う」「この子とこの子は恋人役」「じゃあ、この人はライバルだ」等と、近藤さんの創作意欲はおおいに刺激されたよう。これからワークショップと稽古を経て本番へ。「芝居は本来特別なものではなく、皆さんが演じたいときに演じたいだけ魅せる。お祭りみたいなもの」「豊橋で創るお祭りに参加して下さい!!」募集時の、そんな近藤さんの思いは、早くも形になり始めています。

撮影：伊藤華織

市民と創るスケッチ群像劇  
『話しグルマ』

- 構成・演出＝近藤芳正
- 日時＝2015年3月14日[土]・15日[日]
- 会場＝PLAT主ホール
- 会員先行発売＝1月10日[土]  
一般発売＝1月17日[土]

※詳細は決まり次第、会報誌、HP等で告知させていただきます。



『**暗いところから  
やってくる**』

前川知大 作  
小川絵梨子 演出  
[8月16日・17日]

**小道具に触れる、  
セットの間を駆け回る  
観るだけじゃ  
終わらない演劇体験。**

ホワイエから主ホールへ入ると——あれ？いつもの扉が閉まっている。矢印を頼りに進んでいくと周囲はどんどん暗くなる。やがて突然、目の前に明るい光に包まれた景色が出現。ベッドや段ボール、勉強机等々が雑然と置かれた空間もある。気がつけば、周囲は暗幕で囲まれていて、いつもの客席は消えていて、暗幕の3辺に座席が……。開演前のひととき、さながら忽然と宇宙に湧いたがごとく劇場で、子どもたちはセットの間を自在に駆け回り、おとなたちはといえば、座席から舞台を覗き込んではお隣りさんと囁きあっています。

これ、主ホールのステージ上に作った劇場、ステージ・オン・ステージ。「暗いところが苦手な少年を怖がらせるさまざまな現象は、すべて見えない暗闇に住む者たちの仕業だった」というこの物語の空気を、客席ごとの空間で表現する仕掛けです。演劇が始まると、怖いシーンに思わず隣のお母さんにしがみついても、舞台から目を離せないでいる子どもも。しがみつかれるおとなも含め、みんなステージと客席の境界を超え、演劇にのめり込んでいるのでした。

ところで、この公演にはまだまだ仕掛けがありました。その一つが公演前日の8月15日午後のワークショップ。市内の小学生8



名の参加者に、出演した俳優2名が進行役という贅沢な時間です。しかも、会場は本番の舞台上で、実際に公演で使う小道具の衣類や漫画などを段ボールに片づけたり、舞台上の白いカーテンで影遊びをしたり、同じ重さの段ボールを軽く見せたり重くみせたりと、演技を疑似体験。

本番終演後には、公演にまつわる質問に答えながら感想を子ども自身の言葉で表現するというおまけも。また、16日午後の部の上演後には、舞台セットが組まれている主ホールを中心とした劇場ツアーも実施。これらのイベントの参加者はもちろん、上演前に劇場空間に辿り着くまでの暗闇の恐怖や不安を体験した上でセットに直に触れた子どもたちも、演劇は虚構、物語の世界であると理解しながら、その世界の住人となる楽しさの秘密を感じ取ってくれたようです。

## 「ワークショップ ファシリテーター養成講座」

受講生presents

# ワークショップ 緑日

[8月31日]

## 街に息づく劇場は、 アートの力の実験場

8月31日、夏休み最後の日曜日を過ごす子どもたちのために、PLATのあちこちの部屋や空間を可能な限り開放して行われたのが、ワークショップ緑日です。午前中は「つくる」と「うごく」をテーマに、『音楽ウィルス』『目かくしであてっこ』『パラパラリレー』『仮面をつくらう』など7つ、午後は『えんげぎとあそぼう』と、全部で8つのワーク

ショップが行われました。

なにしろ縁日。子どもたちは各会場から飛び出して、自作の仮面をかぶって劇場内を探検したり、初めて会ったおとなと一緒に遊び始めたり。あるいは「縁日」と聞いて遊びに来た人と劇場スタッフが交流したり。いつもと違う空気に、主ホールとアートスペースで行われたコンサートのお客さまも、足を止めて縁日気分を楽しんでいました。

このイベントは、7月から行われてきた「ワークショップファシリテーター（進行役）養成講座（前期＝全6回）」の最終回。講座には、ワークショップ自体が初体験の人から、実践経験を持つ人までさまざまな世代の多様な受講生が集まり、講師のファシリテーターで俳優の柏木陽さん、すずきこーたさんとともに、まずは「みんなでワークショップをやってみる」からスタート。各々がアイデアを出し合い実行しては振り返るというプロセスを何度もたどって、縁日へと昇華させてきました。縁日は、彼らにとってファシリテーターとしての実践デビューの場でもあります。

11月から始まる後期の講座では、劇場を飛び出して地域のさまざまな場所へ。そして、縁日を経た受講生は今、自分なりの課題を見つけて動き始めています。養成講座としては小さな初めの一歩ですが、PLATにとっては、新たな形で地域の皆さんと繋がる「縁」が生まれた日となりました。



### 講座概要

ワークショップファシリテーター  
養成講座〔後期〕

好評  
受付中

### 『まちに聞く、考える』

- 日時＝11月22日〔土〕・23日〔日〕  
12月13日〔土〕  
2015年1月17日〔土〕・18日〔日〕  
24日〔土〕・25日〔日〕・31日〔土〕  
2月7日〔土〕（全9回）

- 会場＝穂の国とよはし芸術劇場PLAT
- 料金＝3,000円（全9回）
- 定員＝20名程度（先着順）
- 応募締切＝11月14日〔金〕

※〔申込方法〕窓口またはFAX:参加申込書に必要事項を記入の上、プラット一階窓口またはFAX(0532-55-8192)まで。オンライン:劇場ホームページ専用申込フォームより、必要事項を記入して送信してください。

## いよいよ本番へ!

# 東三河の 若手音楽家コンサート PLAT enjoy music! オーディション

[8月10日・15日]

## できることなら、 全員のコンサートを 届けたい。

「三河地方ゆかりの若き音楽家たちに演奏の場を、お客さまには普段着感覚で音楽に包まれるひとときを」との思いでPLATが企画した『東三河の若手音楽家コンサート PLAT enjoy music!』。今年5月にはプレコンサートとして2組の音楽家が、朗読劇『ベアトリーチェ・チェンチの肖像』を見事に音楽で表現してくれました。そして来年、いよいよ本番が新春からスタートします。その出演者を決めるオーディションが8月10日と15日の両日、PLATで行われました。

書類審査を経て出場したのは15組。各組とも、15分の持ち時間を演奏だけでなく楽器紹介や曲目解説などを盛り込むなど、選考委員やスタッフをおおいに楽しませます。そのレベルの高さに、一同、思わず聴き惚れるシーンもしばしばでした。できることなら全員のコンサートをお届けしたい。そんな思いにかられつつ、「聴く人」の側に立って慎重に選考。技術力はもちろん、自ら演奏を楽しむだけでなく聴く人を巻き込む力を持つ人、審査員をして「15分じゃ足りない!」と思わせた人に絞り込んだ結果、まったく性格の異なる楽器によるユニット4組に決定いたしました。

奏者はすべて20代の若手音楽家。個性溢れる4つの演奏会に、コンサートが大好きな人、まだ足を運んだことのない人、どんな人でも満足できること間違いなしです!

## 『PLAT enjoy music!』

- ラインナップ＝2015年  
1月4日〔日〕フルートデュオ&ピアノ:  
trio FlaP (トリオ・フラップ)  
2月14日〔土〕サクソフォン:鈴木研吾  
3月7日〔土〕木管三重奏&ピアノ:  
Ensemble Chouette  
(アンサンブル・シュエット)  
3月21日〔土〕ピアノ:鈴木智子
- 会場＝PLAT アートスペース
- 料金＝[全席自由]各500円
- 会員・一般同時発売＝10月26日〔日〕

※詳細は決まり次第、会報誌、HP等で告知させていただきます。

### 豊橋文化賞・豊橋文化奨励賞の 受賞者が決まりました。

豊橋文化振興財団が毎年行っている豊橋文化賞、豊橋文化奨励賞の本年度の受賞者が決定し、贈賞式が行われました。

#### ◆豊橋文化賞

寺田樹風 [書家]

永年にわたり古典の研究と独創的な書造形の美の探求を行ってきた氏の、淡墨による深い精神性と美しい抒情性を湛えた作品は高く評価されています。また、昭和44年青龍書道会を設立し多くの後進を輩出するとともに、東三河をはじめ愛知県、中部地域の書道関係団体役職を歴任するほか各種展覧会の企画運営にも携わり、地域の書道文化の振興と発展に幅広く貢献されています。



寺田樹風

#### ◆豊橋文化奨励賞

豊橋マンデーナイトジャズオーケストラ [ジャズ]

昭和56年に社会人の音楽愛好家により結成し、以後無料のジャズオーケストラコンサートを定期開催しています。高い演奏技術と観客を楽しませる企画で多くの市民が来場する人気コンサートとなっており、地域に根差した音楽文化振興活動として高く評価されています。



豊橋マンデーナイトジャズオーケストラ

#### 第57回豊橋邦楽大会のご案内

豊橋文化祭の中心行事の一つ、豊橋邦楽大会を開催します。

【箏曲・長唄・小唄・尺八・篠笛の部】 ●日時=10月26日 [日] 12:00開演

●会場=豊橋市民文化会館 ●入場料=1,000円

【民謡・大正琴・尺八・三味線・太鼓の部】 ●日時=11月8日 [土] 10:00開演

●会場=豊橋市民文化会館 ●入場料=800円

【民謡・新舞踊の部】 ●日時=11月9日 [日] 10:00開演 ●会場=豊橋市民文化会館 ●入場料=1,000円

【日本舞踊の部】 ●日時=11月16日 [日] 12:00開演 ●会場=PLAT主ホール ●入場料=2,000円

【詩吟・吟剣詩舞の部】 ●日時=11月16日 [日] 13:00開演 ●会場=豊橋市民文化会館 ●入場料=1,000円 ●各チケット取扱い=穂の国とよはし芸術劇場PLAT一階窓口 (西小田原町123) / 豊橋市民文化会館 (向山大池町20-1)

#### 秋の市民茶会のご案内

毎年恒例、秋の市民茶会を開催します。作法を知らなくても気軽に楽しんでいただける和やかな雰囲気のお茶会です。日程と参加流派は次のとおりです。

●日時=10月18日 [土]・19日 [日] 10:00~15:00 ●会場=豊橋市民文化会館 ●参加流派=18日:裏千家今和会、茶道宗偏吉田流、煎茶売茶流、南坊流 / 19日:表千家豊水会、宗偏流豊橋支部、松尾流、表千家不白流 ●茶券販売=前売1,000円 [2席綴り、当日は1席600円]



#### 豊橋総合いけばな展のご案内

豊橋華道連盟に所属する11流派の合同展です。出色の作品群をお楽しみください。

●日時=10月18日 [土]・19日 [日] 10:00~17:00 (19日は16:00まで)  
●会場=豊橋市民文化会館展示室 ●出展団体 (順不同)=嵯峨御流、華道家元池坊、小原流、南宗流、真生流、日本生花司松月堂古流、花芸安達流、未生流中山文甫会、潮式插花、日本華道松月、天生流  
●入場料=無料

チケットの購入・お問合せ

プラットチケットセンター [会員先行・一般発売]

●Web=http://toyohashi-at.jp

ホームページから24時間いつでも予約可能です。\*プラットプレスへの登録が必要です。

●Tel=0532 (39) 3090

●窓口=穂の国とよはし芸術劇場 1F

Tickets & Informationカウンター

受付時間 [Tel・窓口]

10:00~19:00

(休館日をのぞく)

U24・高校生以下割引のご案内

若い人にこそ生の舞台を楽しんでもらいたいから、ほぼすべての豊橋文化振興財団主催公演に割引料金を設定しています。

●料金=U24 [24歳以下対象]:公演ごとに指定する席種の半額  
高校生以下:一律1,000円

●購入方法=各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。

\*一部公演により発売開始日や発売方法が異なります。

●その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。

座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。

## 2014 10/16 THU — 17 FRI

好評発売中

とよはし演劇工房

### ONEOR8 『世界は嘘で出来ている』

昨年6月PLATプロデュース『父よ!』で作・演出を務めた劇作家・演出家の田村孝裕。自身が所属するONEOR8が豊橋初上陸。

●作・演出=田村孝裕 [ONEOR8]

●出演=恩田隆一 / 甲本雅裕 / 矢部太郎 (カラテカ) / 古屋治男 他

●日時=10月16日 [木] 19:00開演 / 17日 [金] 14:00開演・19:00開演

\*各公演終了後にアフタートークあり。(ゲスト=16日:平田満、17日14:00:甲本雅裕、17日19:00:矢部太郎)

●会場=PLAT アートスペース ●料金=[全席指定] 一般:3,600円 ほか

## 10/29 WED

好評発売中

### 二兎社 『鷗外の怪談』

PLATオープンの前年、14年ぶりに『兄帰る』の再演を果たした二兎社。この秋、待望の新作『鷗外の怪談』を主ホールでお贈りいたします。

●作・演出=永井 愛 ●出演=金田明夫 / 水崎綾女 / 内田朝陽 / 佐藤祐基 / 高柳詢子 / 大方斐紗子 / 若松武史 ●日時=10月29日 [水] 18:00開演

●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定] S席:5,500円 / 1階バルコニー席:4,500円 / A席:4,000円 ほか

## 11/1 SAT — 3 MON

好評発売中

### 高校生と創る 穂の国の『転校生』

●作=平田オリザ [青年団] ●脚色・演出=広田淳一 [アマヤドリ]

●出演=オーディションで選ばれた高校生 ●日時=11月1日 [土] 19:00開演 / 2日 [日] 13:00開演・19:00開演 / 3日 [月・祝] 13:00開演・17:00開演

\*2日13:00の公演終了後にアフタートークあり。

●会場=PLATアートスペース

●料金=[日時指定・全席自由・整理番号付き] 一般:2,000円 ほか

## 11/30 SUN

好評発売中

### 『C.U.G.ジャズオーケストラ LIVE at PLAT』

テナーサクソ奏者・小濱安浩率いるC.U.G.ジャズオーケストラ。結成25周年を迎える国内トップレベルのビッグバンドがPLATにやってきます。

●出演=C.U.G.ジャズオーケストラ、マヤ・ハッチ、柳瀬けいこ、琳佳

●日時=11月30日 [日] 18:30開演 ●会場=PLAT主ホール

●料金=[全席指定] S席:3,000円 / A席:2,000円

ユースチケット (A席):1,000円 [24歳以下]

## 12/7 SUN

好評発売中

### 『国本武春の大忠臣蔵』

●出演=国本武春 ●日時=12月7日 [日] 15:00開演

●会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定] 一般:3,000円 ほか

12/12 FRI — 14 SUN

好評発売中

## てがみ座『汽水域』

心の機微を見つめる繊細な言葉、丹念に織り上げられた構成で、スケールの大きな物語を描き出す筆力が注目されている作家・長田育恵。この冬自身が率いる演劇ユニットてがみ座がPLATアートスペースでお贈りするの、ある喪失の物語。

- 作=長田育恵 ●演出=扇田拓也
- 出演=石村みか/福田温子/箱田暁史 ほか
- 日時=12月12日[金]19:00開演/13日[土]14:00開演  
14日[日]14:00開演
- 会場=PLATアートスペース ●料金=[全席指定]一般:3,600円 ほか

12/14 SUN

好評発売中

ライブポートとよはし開館20周年記念コンサート

## 仲道郁代&横山幸雄 ピアノ・デュオ

- 出演=仲道郁代、横山幸雄 ●日時=12月14日[日]16:00開演
- 料金=[全席指定] S席:4,000円/A席:3,000円  
ユースチケット[24歳以下] S席:2,000円/A席:1,500円
- 会場=ライブポートとよはし コンサートホール

12/20 SAT — 21 SUN

PICK UP!

会員先行=10月11日[土] 一般発売=10月25日[土]

さいたまゴールドシアター

## 『鴉よ、俺たちは弾丸をこめる』

演出家・蜷川幸雄率いる、平均年齢75歳の演劇集団“さいたまゴールドシアター”。パリ・香港など3カ国5都市を巡ったツアー公演がPLATにやってくる。

清水邦夫作のこの作品は、数十人の老婆が法廷を占拠、裁判官や検事等を人質に取り、自ら裁判を行うというアナキーな闘争劇。所々にちりばめられた笑いのなかに、社会に向けた普遍的な強いメッセージが込められています。1971年に蜷川幸雄が率いる劇団「現代人劇場」によってアートシアター新宿文化で初演。石橋蓮司、蟹江敬三、真山知子、緑魔子らが老婆に扮して演じました。今回は、「さいたまゴールドシアター」。蜷川の発案により、高齢者だけを集めた劇団として2006年に結成された集団です。団員は63歳から88歳までの39名（2014年6月現在）。現在平均年齢75歳の高齢者の演劇集団という、世界でも類を見ないカンパニーです。「年齢を重ねた人々が、その個人史をベースに、身体表現という方法によって新しい自分に出会う場を提供する」ための集団作りの提案から始まり、今年海外公演を経てPLATの主ホールに。



©宮川舞子

- 作=清水邦夫 ●演出=蜷川幸雄
  - 日時=12月20日[土]14:00開演/21日[日]14:00開演
  - 会場=PLAT主ホール
  - 料金=[全席指定] S席:4,000円/A席:3,000円 ほか
- ※2015年1月10、11日PLAT主ホール『海をゆく者』との2公演セット券(S席)10,000円

受付開始=11月4日[火]

## グロトリアンを弾いてみよう!

グロトリアンピアノの響きを体験できる機会を設けました。大切に扱ってもらえる方ならお子様でも歓迎です。

- 日時=11月18日[火]、19日[水] 各日10:00-21:00
  - 会場=PLAT創造活動室A ●参加料=1時間あたり1,000円
  - 対象=ピアノが演奏できる方。
  - 募集人数=毎時00分から1時間単位で最大2時間まで。
  - 申込方法=プラットチケットセンター 電話のみ TEL:0532(39)3090
- ※今後も随時開催してまいります。日程等は本誌や劇場HPなどでご案内いたします。

2015

1/10 SAT — 11 SUN

会員先行=10月11日[土] 一般発売=10月25日[土]

## 『海をゆく者』

2009年秋に日本で初めて上演された、アイルランドの劇作家、コナー・マクファーソンの『海をゆく者』。栗山民也演出のもと実に5年ぶりに再演決定。百戦錬磨の男優5人が絶妙なアンサンブルで練り上げる、スリリングなダークコメディ。



- 作=コナー・マクファーソン ●訳=小田島恒志 ●演出=栗山民也
  - 出演=小日向文世/吉田鋼太郎/浅野和之/大谷亮介/平田 満
  - 日時=2015年1月10日[土]14:00開演/11日[日]14:00開演
  - 会場=PLAT主ホール ●料金=[全席指定] S席:7,500円/1階バルコニー席:6,500円/A席:5,000円 ほか
- ※12月20、21日PLAT主ホール『鴉よ、俺たちは弾丸をこめる』との2公演セット券(S席)10,000円

好評受付中

## プレトーク『翻訳家に聞いてみよう』参加者募集

- チケットの有無にかかわらず、興味のある方ならどなたでも参加可能です。
- 出演=小田島恒志(翻訳家)
  - 日時=2015年1月9日[金]18:30~ ●会場=PLATアートスペース
  - 申込方法=プラットチケットセンター 電話のみ TEL:0532(39)3090

1/31 SAT — 2/1 SUN

会員先行=11月15日[土] 一般発売=11月23日[日]

ダンス・スペース

## 平山素子『POISON~シェイクスピアを喰らう(仮)』

日本を代表する舞踊家・平山素子の新作公演。劇作家・シェイクスピアが描いた「毒」をキーワードに、国内外で活躍するプロダンサーが男女の愛や人間の性を描く。

- 演出・振付=平山素子
- 出演=平山素子/河内大和/竹内 梓/宮河愛一郎
- 日時=2015年1月31日[土]14:00開演/2月1日[日]14:00開演
- 会場=PLATアートスペース

2/1 SUN

会員先行=11月8日[土] 一般発売=11月16日[日]

## 東京フィルハーモニー交響楽団演奏会

- 指揮=現田茂夫 ●ヴァイオリン=南 紫音
- 曲目=メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64  
ドヴォルザーク:交響曲第9番 ホ短調 作品95『新世界より』 ほか
- 日時=2015年2月1日[日]16:00開演
- 会場=ライブポートとよはし コンサートホール
- 料金=[全席指定] S席:4,500円/A席:3,000円  
ユースチケット[24歳以下] S席:2,200円/A席:1,500円

3/1 SUN

会員先行=11月29日[土] 一般発売=12月13日[土]

## 『狂人なおもて往生をとぐ~昔、僕達は愛した~』

日本演劇史に金字塔を築いた清水邦夫の傑作に、気鋭の演出家・熊林弘高が挑む。挑発する台詞、美しく輝くことば、そして破滅へと突き進む家族の姿……。

- 作=清水邦夫 ●演出=熊林弘高 ●ドラマターグ=木内宏昌
- 出演=福士誠治/緒川たまき/門脇 麦/葉山奨之  
鷲尾真知子/中嶋しゅう
- 日時=2015年3月1日[日]14:00開演 ●会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] S席:5,500円/1階バルコニー席:4,500円  
A席3,000円 ほか

2人のふるさと大使・スペシャル対談

## PLATのお客さまはあったかい 『王様と私』大千穂楽in豊橋

松平 健<sup>[主演]</sup> × 平田 満<sup>[芸術文化アドバイザー]</sup>

46都道府県、52会場、85公演、観客数9万2954人。2012年から3年に渡って全国ツアーを行ったミュージカル『王様と私』の上演記録です。その最終会場となったのが8月24、25日のPLAT公演。主役の松平健さんは豊橋出身にして市のふるさと大使、そしてPLAT初登場にしてツアー公演の大千穂楽とあって、3公演とも即日完売となりました。そこでプラトニュース特別企画。豊橋公演まっただなかの24日昼公演のあと、お客様のワクワク感が息づく主ホールの2階ホワイエで、同じくふるさと大使の芸術文化アドバイザー・平田満との対談を、いきなり実現してしまいました。



### 20代の頃に豊橋で……

—初めて地元で公演されて、なにか思われることがありますか。

松平●僕は、20代の頃に一度コンサートで来たことがあるんですよ。勤労福祉会館（現・アイプラザ豊橋）で、そのときはお客さんが半分ぐらいいし入らなくて、すごいショックでした。

平田●え？ それ以来ですか？

松平●ええ。そういう苦い思い出があって。だから、今回たくさん入っていただいで克服できた。

平田●やっぱりずっと前の事ですけど、ある劇団の旅公演で僕もその勤労福祉会館で演ったことがあるんですよ。それでここ最近になってPLATの準備段階から小さな作品を豊橋で実験的に上演するようになって。でも僕は松平さんのように歌えない、踊れない（笑）。今もアートスペースの公演ばかりで、主ホールは未経験。小さいところでせせこましくやっています。—主ホールとはいえ、今回のツアーではPLATが一番狭い劇場だったのでは。

松平●そうですね。その分、お客さんとの距離感がとても近くて、反応もすごくいい。あったかい。

平田●一番後ろで見ていたんですけど、僕もそれを感じて、「あ、いいな」と思いましたね。

松平●ね。すごく伝わってきますね。



### 60代になったら また演りたいと思っていた

平田●それから僕は、松平さんがこのお芝居を愛しておられるのを感じて。松平さんが楽しんでいらっしゃるから、お客さんも楽しい。「ああ、これが大千穂楽なのか」と、とてもいい時間でした。

松平●地元ということで、大千穂楽をPLATに合わせてくれたみたいですよ。実はこれ、すごくやりたかったミュージカルなんです。初めて演ったのは35歳のときかな。それから約20年ぶり。あのときはまだ若くてね。一所懸命役を作ってやっていたから、「60代になったら、またやりたいな」と思ってきたことが実現した。

平田●あの役は若くても年齢が高くなってもいいですね。最後のシーンなんかは、今の年齢だからこそその良さがあると思いました。でも、踊りは大丈夫ですか（笑）。

松平●なんとか大丈夫です。

平田●すごく若々しい。僕なんか、とても上半身裸にはなれない。

松平●いや、これのために大変で（笑）。

### PLATをみんなが 集まれる場に

—昨日、松平さん宛に豊橋の葡萄がたくさん届きました。先ほどもちくわの楽屋見舞いが。

松平●そうそう。やっぱり、地元の名産品の

楽屋見舞いをたくさんいただいたりね。今まで豊橋はなかなかお客さんが入らない印象がありましたが、それは劇場がなかったからかもしれないですね。こういう劇場があることで、お客さんがいろんな作品にも巡り合える。

平田●そしてお客さんも、観る習慣をつけてきてくださる。

松平●そうですね。「豊橋まつり」も毎年やっていますけど、そういうのとはまた違う、芝居などで豊橋のみなさんが集まってくれる身近な場所に、このPLATがなってくれるといいかなと思いますね。

平田●全公演が終了したところで大納会のようなことはするんですか。

松平●今晚やります。

平田●豊橋で、今日！ いや、お疲れのところを、ありがとうございました。また、豊橋にいらしてください。

松平●ええ。ぜひぜひ！

### 対談を終えて…

平田 満

同じ年というのが恥ずかしくなるほど若々しい肉体とお芝居の松平さん。お疲れのところを快くお話していただきました。大舞台の似合う松平さんにもPLATの近さと温かさを気に入っていただけたようです。またいつかPLATにお越しくださることを願っています！

[まつだいらけん] 俳優、歌手。1953年生まれ。主演テレビ時代劇『暴れん坊将軍』シリーズでは、約25年（全832回）にわたって活躍。舞台公演においても「用心棒」「王様と私」など、時代劇からミュージカルまでこなす才能豊かな存在。また2004年の『マツケンサンバII』では、歌と踊りで一大ブームを巻き起こし、老若男女を問わず幅広いファン層からも親しまれている。



<p>白井琢也公認会計士事務所 http://www.shirai-cpa.com 電話0532-5712360</p>	<p>本豊川堂 カナルミヤ アピタ 本店 五五二八〇番 支店 五五二八〇番</p>	<p>代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川町91-2 〒440-0035 Phone:0532-62-1331(代) Fax:0532-62-1332 浜松事務所 / 浜松市東区流元町13 〒435-0007 Phone:053-423-3628(代)</p> <p>医療法人 羔羊会 <b>弥生病院</b> 日本医療機能評価機構認定 渡辺のり子(東高2回生) 〒441-8106 豊橋市弥生町字東豊和96 TEL(大代)48-2211</p>	<p>外科・内科・胃腸科・麻酔科・消化器科・呼吸器科 伊藤 藤 文之 二 院 豊橋市小池町字原下三二五 電話四五五二八三番(代)</p>	<p>看板広告 アラキスタヂオ 豊橋市上伝馬町十六 電話 〇五五八六番</p>	<p>医療法人 慈 豊会 大島整形外科クリニック 理事長 大島 照夫 院長 大島 毅 東田町井原三九の七(金帯赤岩口駅前) 電話 六二二五五一(一)番(代)</p>	<p>医療法人 赤岩病院 光生会病院 電話 六二二五五番</p>	<p>YMバレエ カンパニー ハートフ 21 8610</p>	<p>有限会社 魚 伊 電話 52-5256</p> <p>本と文具なら <b>精文館書店</b> TEL.54-2345</p>
--	---	---	--	---	--	--	---	---

<p>竹内産婦人科 産婦人科 婦人科(不妊治療) 豊橋市新本町23 豊橋 竹内産婦人科 検索Q</p>	<p>氷各種販売 / 冷蔵倉庫業 <b>大正冷蔵</b> 本社 豊橋市湊町117 TEL: 0532-52-1161 FAX: 0532-52-8015</p>	<p>山本製粉株式会社 ホンポ なつかしの味 なつかしの味</p>	<p>音楽集団・クラブ <b>KAIHO</b> パートII KOTARU DAIGOLAW リョウ NORI-G 法務 財務 GUCCHI 倫理 環境 TAKEDA MATSUO 広報 photo</p>	<p>株式会社 谷山建築設計事務所 http://taniyama-archi.com 豊橋市西羽田町一八三</p>	<p>調理と製菓の美しい資格。 <b>豊橋調理製菓専門学校</b> TEL 五二二八〇九 豊橋市八町通一丁目三十二</p>	<p>グロトリアンピアノ地域特約店 <b>白羽楽器株式会社</b> 電話 0531-46413015</p>		
<p>株式会社オノコム ONOCOM</p>	<p>Gallery 48 呉服町48 TEL.54-4848</p>	<p>SUBARU スバル東愛知販売(株)</p>	<p>稲荷煮 壺屋弁当部 TEL: 0532-31-1131 FAX: 0532-31-1135</p>					

<p>気まぐれコンサート 事務局 / 0532-62-9259 (小川恵司)</p> <p>井上皮膚科クリニック ☎ 0532-55-7007</p> <p>診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00 土 10:00~14:00 休日=水・日・祝 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1 マイルストーン1F</p>	<p>am.10:00~pm.5:00 <b>るる</b> 茶房 甘味処 抹茶・コーヒー あんみつ・豆かんてん 中岩田5丁目6の4 TEL.63-0202</p> <p>塩之谷整形外科 院長 塩之谷 昌 副院長 塩之谷 香 豊橋市稲田町四段54 ☎(0532)25-2115(代)</p>	<p>広告募集 共和印刷株式会社 豊橋市小池町36番地の1 TEL 461132881 FAX 46132885</p>	<p>整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科 医療法人 大岩整形外科・皮フ科 院長 大岩 俊久 豊橋市大橋通二丁目二二五 電話 五五二二一〇〇</p> <p>高誠堂 伝統的工芸品豊橋筆 書道用品専門店 豊橋市呉服町四拾四番地 電話 五二二五五一四</p>	<p>創業文政年間 日栄 ぎく宗 豊橋市新本町40 電話52-5473番</p>	<p>練物 専 家 なりの花でん コラフロント ホテルアークリッシュ1F</p>	<p>豊橋名産 傘ちくわ</p>
---	--	--	---	--	--	----------------------

<p><b>プラットフォーム募集中 [入会金・年会費無料]</b></p> <p>特典 1 公演情報をメールでご案内します。 特典 2 インターネットでチケット予約ができます。 特典 3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。</p> <p>登録方法 ●WEBで登録 [穂の国とよはし芸術劇場HP] http://toyohashi-at.jp ●携帯で登録 https://piagettii.e-get.jp/online-ticket/de/ ●窓口で登録 穂の国とよはし芸術劇場 Tickets &amp; Information カウンター</p>	<p><b>チケット購入案内</b></p> <p>◆プラットフォームセンター [会員先行・一般発売] Web=http://toyohashi-at.jp ※プラットフォームへの登録が必要です。 Tel=0532(39)3090 受付時間 [Tel・窓口] 10:00~19:00 (休館日をのぞく) 窓口=穂の国とよはし芸術劇場1F Tickets &amp; Information カウンター</p> <p>◆その他 [一般発売・公演によって販売所は異なります] チケットぴあ / カルミア2Fサービスセンター ほの国百貨店6Fプレイガイド など</p>
<p><b>穂の国とよはし芸術劇場 PLAT</b> 〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地 Tel=0532(39)8810 [代表] http://toyohashi-at.jp 開館時間=9:00~22:00 休館日=第三月曜・祝日の場合は翌日。年末・年始。 豊橋駅 (JR東海道新幹線・東海道本線・名古屋鉄道)、新豊橋駅 (豊橋鉄道渥美線) 直結。豊橋駅南口から徒歩3分。 ※駐車場はありません。公共交通機関、お近くの公共駐車場等をご利用下さい。</p> 	

# PLAT CALENDAR

## 11 NOVEMBER

- 1 SAT — 3 MON 高校生と創る 穂の国の『転校生』 PLATアートスペース
- 2 SUN 吉田文楽保存会定期公演 PLAT主ホール
- 3 MON 豊橋音楽連盟コンサート 豊橋市民文化会館  
エキサイティング・シニア・カーニバル in Toyohashi 2014 豊橋市総合体育館 第1競技場
- 6 THU ベネズエラ文化週間2014 in とよはし『トリオ・アルデマーロ・ロメーロ』 PLAT主ホール
- 7 FRI 東日本大震災チャリティー公演 心の力と身体の支え PLATアートスペース
- 8 SAT — 9 SUN 東三河合同盆裁展 豊橋市民文化会館
- 8 SAT 宮沢賢治の世界(2) 薩摩琵琶と語り なめとこ山の熊 鐘と語り四又の百合〜林洋子 ひとり語り〜 PLATアートスペース  
第57回 豊橋邦楽大会(民謡・大正琴・尺八・三味線・太鼓の部) 豊橋市民文化会館
- 9 SUN 第57回 豊橋邦楽大会(民謡・新舞踊の部) 豊橋市民文化会館  
藤美会 発表会 PLAT主ホール
- 11 TUE — 12 WED 心の生涯学習セミナー PLATアートスペース
- 12 WED コーラスのつどい 豊橋市民文化会館
- 13 THU 第八回吉田城新能 能楽らいぶ 新作能「中尊」 PLAT主ホール
- 14 FRI — 16 SUN 澄心会書道展 豊橋市民文化会館
- 14 FRI 第34回 桂文我独演会 PLATアートスペース
- 15 SAT 筒井正浩×朝倉三恵 コラボ講演会 PLATアートスペース
- 16 SUN 第57回 豊橋邦楽大会(日本舞踊の部) PLAT主ホール  
第57回 豊橋邦楽大会(詩吟・吟剣詩舞の部) 豊橋市民文化会館
- 22 SAT — 23 SUN 劇団豊橋演劇塾公演『櫻の園〜最後の楽園〜』 PLATアートスペース
- 24 MON 第381回豊橋おやこ劇場協議会低学年例会 人形劇団ブーク『オズの魔法使い』 PLAT主ホール  
石塚まみピアノライブ PLATアートスペース
- 25 TUE — 30 SUN 平成26年度 地区市民総合展 豊橋市民文化会館
- 26 WED — 28 FRI 豊橋演劇鑑賞会第245回例会 文学座『くにこ』 PLAT主ホール
- 29 SAT 篠崎陽子CD発売記念 マリンバリサイタル PLATアートスペース  
荒道子コンサート 豊橋市民文化会館
- 30 SUN 平成26年度 地区市民芸能祭 豊橋市民文化会館  
愛知大学吹奏楽団 第47回 定期演奏会 アイプラザ豊橋  
『C.U.G.ジャズオーケストラ LIVE at PLAT』 PLAT主ホール

## 12 DECEMBER

- 5 FRI 第15回 荒井嗣雄テノールリサイタル PLATアートスペース
- 7 SUN 『国本武春の大忠臣蔵』 PLAT主ホール  
国際ソロプチミスト豊橋認証30周年記念 TOKYO FM少年合唱団コンサート PLATアートスペース  
第四十七回 諸派合同尺八演奏会 豊橋パークホテル吉祥閣
- 12 FRI — 14 SUN てがみ座『汽水域』 PLATアートスペース
- 14 SUN ライフポートとよはし開館20周年記念コンサート 仲道郁代&横山幸雄 ピアノ・デュオ ライフポートとよはし  
第20回 楠木杯歌謡選手権大会 豊橋市民文化会館  
第11回 津軽三味線 雅會 発表会 ウィンディアホール
- 20 SAT — 21 SUN さいたまゴールドシアター『鴉よ、俺たちは弾丸をこめる』 PLAT主ホール  
小春風ライブ6th PLATアートスペース
- 23 TUE ゆかり会 petit concert PLATアートスペース
- 26 FRI 松元ヒロ ソロライブ PLATアートスペース

[表紙写真] 「穂の国の『転校生』」ワークショップ3日目。  
高校生たちの溢れんばかりの身体表現がアートスペースを満たします。

企画・発行＝公益財団法人豊橋文化振興財団

編集＝森 絹江

デザイン＝松吉太郎デザイン事務所

写真[表紙]＝萩原ヤスオ

平成26年10月 発行10号 [隔月発行]

## 穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

Tel 0532(39)8810[代表] <http://toyohashi-at.jp>

